

Standard Edition 入門ガイド

Novell. ZENworks® 10 Configuration Management SP3

10.3

2010年3月30日

www.novell.com



保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容または本書を使用した結果について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、本書の商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる明示的または黙示的な保証も否認し、排除します。また、本書の内容は予告なく変更されることがあります。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、ノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる明示的または黙示的な保証も否認し、排除します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出規制および他国の商法の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守し、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出に関する詳細については、[Novell International Trade Services の Web ページ \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) を参照してください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2007-2010 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複製転載することは、その形態を問わず禁じます。

Novell, Inc.
404 Wyman Street, Suite 500
Waltham, MA 02451
U.S.A.
www.novell.com

オンラインマニュアル: 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインマニュアルにアクセスするには、[Novell マニュアルの Web ページ \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation) を参照してください。

Novell の商標

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティ資料

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

目次

| | |
|-------------------------------|-----------|
| このガイドについて | 7 |
| 1 製品の概要 | 9 |
| 1.1 管理機能 | 9 |
| 1.1.1 検出と展開 | 10 |
| 1.1.2 ソフトウェア管理 | 10 |
| 1.1.3 ポリシーベースのデバイス管理 | 10 |
| 1.1.4 イメージング | 11 |
| 1.1.5 リモート管理 | 11 |
| 1.1.6 ZENworks レポートティング | 11 |
| 1.1.7 インベントリコレクション | 12 |
| 1.1.8 システム更新 | 12 |
| 1.1.9 アセット管理 | 12 |
| 1.1.10 パッチ管理 | 13 |
| 1.1.11 Personality Migration | 13 |
| 1.2 システムアーキテクチャ | 13 |
| 1.2.1 プライマリサーバ | 14 |
| 1.2.2 サテライト | 15 |
| 1.2.3 管理対象デバイス | 16 |
| 1.2.4 インベントリのみデバイス | 16 |
| 1.2.5 管理ゾーン | 16 |
| 1.3 システム管理 | 16 |
| 1.4 ZENworks 用語集 | 18 |
| 2 インストールおよびセットアップマニュアル | 21 |
| 3 管理マニュアル | 23 |
| A マニュアルの更新 | 25 |
| A.1 2010年3月30日: SP3 (10.3) | 25 |

このガイドについて

この『Novell ZENworks 10 Configuration Management Standard Edition 入門ガイド』では、ZENworks 管理システムについて説明するとともに、システムのインストール、設定、使用に役立つドキュメントについて紹介します。このガイドの情報は、次のように構成されます。

- ◆ 9 ページの第 1 章「製品の概要」
- ◆ 21 ページの第 2 章「インストールおよびセットアップマニュアル」
- ◆ 23 ページの第 3 章「管理マニュアル」
- ◆ 25 ページの付録 A「マニュアルの更新」

対象読者

このガイドは、ZENworks 管理者を対象としています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインマニュアルの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか、または [Novell Documentation Feedback サイト \(http://www.novell.com/documentation/feedback.html\)](http://www.novell.com/documentation/feedback.html) にアクセスして、ご意見をお寄せください。

追加のマニュアル

ZENworks 10 Configuration Management には、製品について学習したり、製品を実装したりするために使用できるその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式の両方) も用意されています。追加のマニュアルについては、[ZENworks 10 Configuration Management SP3 のドキュメント \(http://www.novell.com/documentation/zcm10/\)](http://www.novell.com/documentation/zcm10/) を参照してください。

マニュアルの表記規則

Novell のマニュアルでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します。

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (*) は、サードパーティの商標を示します。

パス名の表記に円記号 (\\) を使用するプラットフォームとスラッシュ (/) を使用するプラットフォームがありますが、このマニュアルでは円記号を使用します。Linux* など、スラッシュを使用するプラットフォームの場合は、必要に応じて円記号をスラッシュに置き換えてください。

製品の概要

1

Novell® ZENworks® 10 Configuration Management SP3 Standard Edition では、Windows* のサーバおよびワークステーション(「デバイス」と総称する)を包括的に管理します。Configuration Management では、Windows デバイスおよび Linux* デバイスの両方をサーバとして機能させることができます。

ZENworks コントロールセンター管理コンソールを使用して、次の操作を実行できます。

- ◆ ネットワークで展開可能デバイスを検出し、ZENworks ソフトウェアをそれらのデバイスに展開するための展開タスクを作成する
- ◆ デバイスでソフトウェアを管理および展開する
- ◆ ポリシーの使用を通じて、デバイス設定とアプリケーション設定を管理する
- ◆ イメージとスクリプトのアプリケーションを自動化する
- ◆ 安全で高速なインタフェースを使用することによって、デバイスをリモートで管理する
- ◆ ハードウェアとソフトウェアインベントリを収集する
- ◆ ポリシー、インベントリ、バンドル、およびメッセージのレポートを生成する
- ◆ 簡単に展開できるように、従来のソフトウェアインストーラーを業界標準の MSI に変換し、カスタマイズする
- ◆ ソフトウェアパッチのアプリケーションを自動的に一貫した方法で管理して、脆弱性と問題を最小限に抑える (60 日評価)
- ◆ ソフトウェアアセットを管理する (60 日評価)

次のセクションでは、ZENworks Configuration Management の機能についてさらに紹介し、ZENworks システムアーキテクチャと管理についての概要を高いレベルで提供しています。

- ◆ [9 ページのセクション 1.1 「管理機能」](#)
- ◆ [13 ページのセクション 1.2 「システムアーキテクチャ」](#)
- ◆ [16 ページのセクション 1.3 「システム管理」](#)
- ◆ [18 ページのセクション 1.4 「ZENworks 用語集」](#)

1.1 管理機能

ZENworks Configuration Management の機能は、次のとおりです。

- ◆ [10 ページのセクション 1.1.1 「検出と展開」](#)
- ◆ [10 ページのセクション 1.1.2 「ソフトウェア管理」](#)
- ◆ [10 ページのセクション 1.1.3 「ポリシーベースのデバイス管理」](#)
- ◆ [11 ページのセクション 1.1.4 「イメージング」](#)
- ◆ [11 ページのセクション 1.1.5 「リモート管理」](#)
- ◆ [11 ページのセクション 1.1.6 「ZENworks レポーティング」](#)
- ◆ [12 ページのセクション 1.1.7 「インベントリコレクション」](#)

- ◆ [12 ページのセクション 1.1.8 「システム更新」](#)
- ◆ [12 ページのセクション 1.1.9 「アセット管理」](#)
- ◆ [13 ページのセクション 1.1.10 「パッチ管理」](#)
- ◆ [13 ページのセクション 1.1.11 「Personality Migration」](#)

1.1.1 検出と展開

検出プロセスは、提供されている一連の IP アドレスをクエリすることによってネットワークのデバイスを検出したり、SNMP、WMI、および SSH などの技術を使用することによってインベントリ情報を収集したりするために使用されます。検出プロセスでは、Novell eDirectory™ または Active Directory* からのデバイスを検出することも可能であり、従来の ZENworks デバイスを Novell eDirectory からマイグレートできます。

展開プロセスは、検出プロセスによって識別される、または提供されたデバイスリストで明示的に指定されたデバイスの集合に対して、ZENworks Adaptive Agent を配布してインストールするために使用します。これらのデバイスは、管理対象デバイスとなります。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management 検出、展開、およびリタイアリファレンス』を参照してください。

1.1.2 ソフトウェア管理

ZENworks Configuration Management を使用すると、デバイスに対してアプリケーションの設定、配布、インストール、削除、ロールバックを行うことができます。これは、ソフトウェアバンドルの使用によって実行できます。

バンドルをデバイスに割り当てるとき、定義したスケジュール (配布、起動、および可用性) に従って、バンドルをデバイスにインストールして、実行することができます。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management Software Distribution リファレンス』を参照してください。

1.1.3 ポリシーベースのデバイス管理

ZENworks Configuration Management では、ポリシーを使用して任意の数の管理対象デバイスに割り当てることができる一連の環境設定を作成することができます。これによって、デバイスに一貫した環境設定が与えられ、各デバイスを個別に設定する必要がなくなります。

ZENworks Configuration Management ポリシーを使用すると、Internet Explorer のお気に入り、Windows グループポリシー、ローカルファイル権利、プリンタ、SNMP サービス設定、ローミングプロフィールを管理し、ダイナミックローカルユーザアカウントを設定し、管理されたデバイス上で管理できるようになります。また、管理対象デバイスのリモート管理セッションの動作または実行を設定したり、ZENworks Explorer の動作および機能を制御したり、集中管理したりすることもできます。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management Policy Management リファレンス』を参照してください。

1.1.4 イメージング

ZENworks Configuration Management には、オペレーティングシステムが起動される前に、デバイスでタスクを実行できるプレブートサービスが含まれています。Preboot Services を使用して、起動時に自動または手動で次の操作をデバイスに対して実行できます。

- ◆ バッシュプロンプトで発行できるコマンドを含む ZENworks イメージングスクリプトを実行する
- ◆ デバイスのハードドライブおよびその他のストレージデバイスのイメージを取得する
- ◆ イメージをデバイスに復元する
- ◆ 既存のイメージが複数のデバイスに適用されるセッションに参加する
- ◆ ImageX を使用して、WIM イメージを取得または復元する
- ◆ Symantec* GHOST を使用して、GHOST イメージを取得または復元する

これらのタスクのいくつかを自動的に実行するには、単に PXE (Preboot Execution Environment) をデバイスで有効にするだけです。その後でプレブート可能なタスクを ZENworks コントロールセンターで設定し、デバイスに割り当てます。これにより、デバイスが起動する際にこれらのタスクを自動的に実装できます。

タスクを手動で実装するには、起動中にユーザによる介入が必要であるようにデバイスを設定できます。

ZENworks コントロールセンターを使用して、tftp ディレクトリ変更をプライマリサーバから他のイメージングサーバ（イメージング役割を持つ、プライマリサーバまたはサテライトデバイス）に複製することもできます。

詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management Preboot Services およびイメージングリファレンス](#)』を参照してください。

1.1.5 リモート管理

ZENworks Configuration Management には、リモートコントロール、リモートビュー、リモート実行、リモート診断、およびファイル転送などの操作を通じて、リモートで安全にデバイスを管理する機能が提供されています。

詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management Remote Management リファレンス](#)』を参照してください。

1.1.6 ZENworks レポートティング

ZENworks Configuration Management の ZENworks Reporting Server では、高度なレポートティング機能が提供されています。ZENworks Reporting Server は統合型の BusinessObjects Enterprise XIR3.1 エンジンを使用して、カスタマイズされたレポートを作成します。ZENworks Reporting Server にある事前定義済みのレポートを使用して、アセット管理、パッチ管理、インベントリ、ディスクバリエーションと展開、バンドルとポリシー、ZENworks システムについてレポートすることができます。また、カスタムレポートの作成、レポートの編集、レポートに対する権限の割り当て、および一組のユーザに対するレポートのスケジュール設定などの作業を行うこともできます。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management レポーティングサービンス
ツールガイド』および『ZENworks 10 Configuration Management System Reporting リファレン
ス』を参照してください。

1.1.7 インベントリコレクション

ZENworks Configuration Management は、すべての管理対象デバイスとインベントリデバイス
に対する拡張ソフトウェアとハードウェアインベントリを収集できるため、標準レポート
およびカスタムレポートを作成したり、エクスポートしたりすることができます。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management Asset Inventory リファレンス』を
参照してください。

1.1.8 システム更新

ソフトウェアがインストールされている管理ゾーンのすべてのデバイスで ZENworks
Configuration Management ソフトウェアを更新することができます。アップデートのダウ
ンロードは、スケジュール化することができます。ソフトウェアの更新は、インターリム
リリースレベルで提供されるので、そのコンテンツを確認してからそれぞれの更新を適用
するかどうかを選択できます (インターリムリリースは累積的なものです)。最新の
PRU(Product Recognition Update) をダウンロードして、ZENworks Inventory が新しいソフト
ウェアを認識できるように、ナレッジベースを更新することもできます。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』を
参照してください。

1.1.9 アセット管理

ZENworks Asset Management では、ソフトウェアアセットの管理を手助けするための各種
のツールが提供されています。これらのツールには、次の 3 つの領域が含まれます。

- ◆ **ソフトウェア使用状況**：既存のインベントリでソフトウェアアプリケーションの使用
状況 (実行時間、アクティブ時間、ログインユーザ、マシン、および使用されたア
プリケーション) をトラッキングできます。ブラウザから実行された Web アプリケー
ションだけでなく、ターミナルサーバや Citrix を経由して実行されたソフトウェアも
トラッキングし、レポートすることができます。カスタムレポートの作成、保存、お
よび実行だけでなく、ソフトウェア使用状況全般について事前定義された広範なレ
ポートを実行できます。
- ◆ **契約管理**：重要な日付とベンダ、財務、SLA、リース、および更新情報などを含む IT
契約に関連する詳細を定義し、トラッキングできます。また、これらの情報を関連ド
キュメントに添付し、資産、ライセンス、および人口統計データを契約に関連付け、
指定した日付に自動的に電子メールで通知することができます。カスタムレポートの
作成、保存、および実行に加え、契約管理全般について事前定義された広範なレポ
ートを実行することもできます。
- ◆ **ライセンス管理**：ソフトウェア購入レコードのインポートと入力、ライセンスエン
タイトルメントの定義、サポートドキュメントの添付、検出されたソフトウェア製品
とエンタイトルメントの調整、継続的なコンプライアンス状況のトラッキングを実行
できます。カスタムレポートの作成、保存、および実行だけでなく、ライセンス管理
全般について事前定義された広範なレポートを実行することもできます。

詳細については、『ZENworks 10 Asset Management リファレンス』を参照してください。

ZENworks Configuration Management Standard Edition をご購入いただくと、Asset Management を 60 日間評価版としてご利用いただけます。評価期間後も引き続きご利用いただくには、Asset Management をご購入いただく必要があります。

1.1.10 パッチ管理

パッチ管理を使用すると、ソフトウェアパッチを自動的に一貫して適用して脆弱性および問題を最小限にすることができます。

パッチ管理は、ZENworks Patch Subscription Service と定期的にインターネットで通信することにより最新パッチとフィックスで常に最新に保たれます。最初の 60 日間の評価期間後も、引き続き最新の脆弱性およびパッチ情報を毎日ダウンロードするには有料のサブスクリプションが必要になります。

新しいパッチがサブスクリプションサービスから利用可能になると、ZENworks サーバは、そのパッチに関する情報をダウンロードします。パッチはデバイスに展開するか、またはパッチを破棄することもできます。

詳細については、『ZENworks 10 Patch Management リファレンス』を参照してください。

1.1.11 Personality Migration

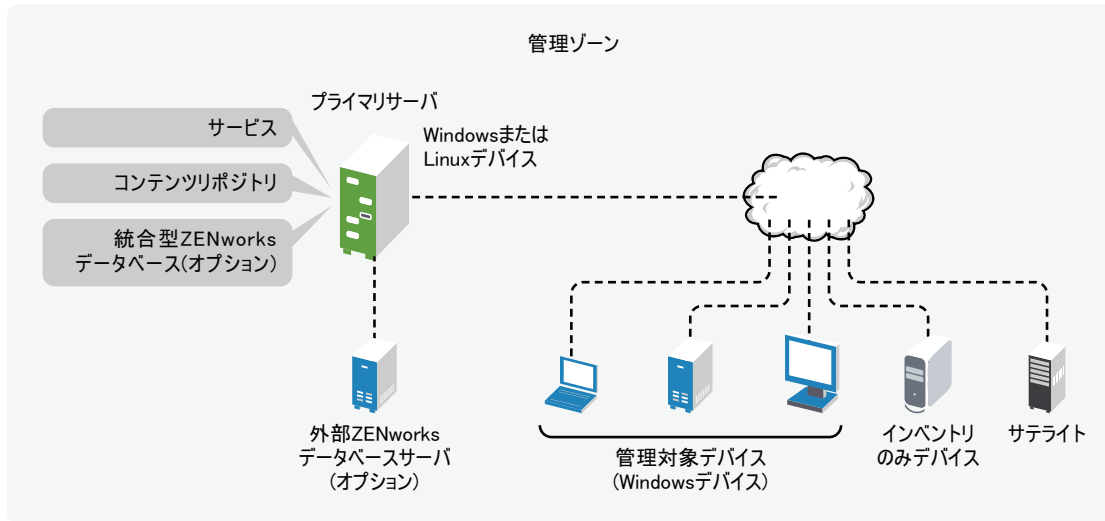
Personality Migration では、カスタマイズされた一連のシステムおよびアプリケーション設定をマイグレートするプロセスを自動化できます。典型的な設定のセットには、デスクトップの壁紙、電子メールアカウント設定、ブラウザプロキシ設定、ファイルおよびフォルダ、アーカイブされた電子メール、Microsoft Office のテンプレート、MS Excel のマクロなどがあります。このプロセスによって、ユーザのデスクトップを設定または再設定するために必要な時間と労力が大幅に削減されます。

詳細については、『ZENworks 10 Personality Migration リファレンス』を参照してください。

1.2 システムアーキテクチャ

ZENworks のシステムアーキテクチャは、プライマリサーバ、サテライトサーバ、管理対象デバイスなどのコンポーネントで構成されています。これらのコンポーネントは、「管理ゾーン」と呼ばれる管理ドメインに配置されています。

図 1-1 管理ゾーン



管理ゾーンは、少なくとも1つのプライマリサーバ、サテライト（必要に応じて）、および1つまたは複数の管理されたデバイス、あるいはインベントリのみデバイスから構成されます。プライマリサーバとサテライトは共に動作して、デバイスを管理します。ゾーンの情報、プライマリサーバの1つに常駐するデータベースまたはZENworksがインストールされていない別のサーバに外部で常駐するデータベースに保存されます。

1.2.1 プライマリサーバ

プライマリサーバは、ZENworks システムの焦点です。ZENworks を使用して管理するデバイスの数と場所によっては、追加のプライマリサーバが必要となる場合があります。ZENworks サービスは、ZENworks ソフトウェアのインストールおよび設定時に、各プライマリサーバ（物理サーバまたは仮想サーバ）に追加されます。

プライマリサーバは、サポートされている仮想インフラストラクチャに ZENworks Appliance を展開することによってもセットアップできます。ZENworks Appliance は、カスタマイズされた SUSE® Linux Enterprise Server 10 SP2 (SLES 10 SP2) 上に構築され、ZENworks サーバと ZENworks Reporting Server とともにプレインストールされます。

プライマリサーバには、次の ZENworks コンポーネントがあります。

- ◆ **ZENworks サービス**：ソフトウェア管理、ポリシー施行、イメージング、インベントリコレクション、アセット管理などを提供する ZENworks ソフトウェアです。主なサービスは、ZENworks Server Service、ZENworks Loader、ZENworks Imaging Service、および ZENworks Management サービスです。
- ◆ **コンテンツリポジトリ**：ソフトウェア、ポリシー、および設定メタデータ（データベース内に格納）を含みます。ポリシーおよびソフトウェアはシステム内の管理対象デバイスに配信するために使用できます。コンテンツは圧縮され、暗号化されます。デフォルトでは、コンテンツは、ユーザが制御するスケジュールに基づいて、管理ゾーンのすべてのプライマリサーバ間で自動的に複製されます。ただし、特定のサーバが除外されるように設定できます。
- ◆ **ZENworks データベース**：配信のソフトウェアバンドルに関する情報、デバイスから収集されるハードウェアおよびソフトウェアのインベントリリスト、ZENworks コントロールセンターオブジェクト（デバイス、ユーザ、バンドル、ポリシーなど）に関

する情報、集中型システムメッセージ、ライセンス追跡、使用率データとその他のトランザクションデータ、およびシステム内での発生がスケジュールされているアクションが含まれます。

ZENworks Configuration Management に付属の統合型 Sybase* SQL Anywhere* データベースをインストールするか、外部の Sybase SQL database、Oracle* 10g Standard -、または Microsoft* SQL データベースを使用できます。サポートされているデータベースの詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management インストールガイド』の「データベースの要件」を参照してください。

組み込みデータベースを使用する場合は、そのデータベースを管理ゾーンごとに1つのプライマリサーバだけに常駐させる必要があります。外部データベースを使用する場合は、プライマリサーバではないサーバにデータベースをインストールできます。デフォルトでは、すべてのプライマリサーバは、ZENworks データベースがどこに常駐していても、データを書き込むためにアクセスする必要があります。

また、特定のサーバがその他のサーバに情報をロールアップするように指定することもできます。

Microsoft SQL データベースを使用する場合は、Microsoft SQL データベースを Microsoft サーバ内に位置付けることで、アクセスと信頼性を向上できます。

1.2.2 サテライト

サテライトは、ZENworks プライマリサーバが通常実行する特定の役割を実行できるデバイスです。サテライトは、管理対象デバイス (サーバまたはワークステーション) または管理されていない Linux デバイス (サーバまたはワークステーション) として使用できます。サテライトデバイスを設定するとき、実行する役割を指定します。

- ◆ **イメージング** : イメージングサービスをインストールし、イメージングの役割をデバイスに追加します。この役割では、デバイスをイメージングサーバとして使用して、ユニキャストまたはマルチキャストイメージングを使用してイメージを取得したり、イメージをサブネット内およびサブネット全体を通じて適用したりするなどのイメージング操作のすべてを実行できます。
- ◆ **コレクション** : ZENworks データベースをホストしている ZENworks プライマリサーバに対するトラフィックを最小限に抑えるために一組のデバイスに対する情報ロールアップアクセスを向上させるには、デバイスでコレクションの役割を有効にできます。たとえば、ネットワークセグメント外のプライマリサーバに情報をロールアップしているデバイスを持っている場合、ネットワークセグメント内のデバイスに対するコレクションの役割を有効にしてそのセグメントのその他のデバイスから情報を受け入れられるようにすることによって、ネットワークトラフィックを最小限に抑えることができます。これによって、コレクション役割のデバイスは、プライマリサーバに情報をロールアップしている、そのセグメントからの唯一のデバイスとなります。
- ◆ **コンテンツ** : 別のプライマリサーバを作成することなく一組のデバイスに対してコンテンツアクセスを向上させるには、デバイスに対してコンテンツ役割を作成できます。たとえば、ネットワークセグメント外部のプライマリサーバにアクセスするデバイスがある場合は、そのネットワークセグメント内にコンテンツの役割を作成して、それらのデバイスにサービスを提供できます。
- ◆ **認証** : ZENworks 管理ゾーンでデバイスの認証プロセスの速度を上げたい場合は、デバイスでの認証役割を有効にできます。これで、認証役割を持つサテライトデバイスは、ワークロードをさまざまなデバイス間に分散させ、管理対象デバイスに対してローカルに認証を実行することによって、認証プロセスの速度を上げることができま

す。認証役割を持つサテライトデバイスを、複数存在させることができます。また、認証の役割を持つ各サテライトに複数のユーザソースを設定でき、各サテライトには各ユーザソースへの複数の接続を指定してフェールオーバーを実現できます。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「サテライト」を参照してください。

1.2.3 管理対象デバイス

管理対象デバイスは、管理するために ZENworks を使用できる Windows サーバまたはワークステーションです。ZENworks Adaptive Agent を管理するには、各デバイスにインストールする必要があります。Adaptive Agent はプライマリサーバと通信し、ソフトウェアの配信、設定ポリシーの施行、ハードウェアとソフトウェアのインベントリ、およびリモートのデバイスの管理を有効にします。

それぞれの管理対象デバイスは、初期プライマリサーバと連絡を取ろうとします。ただし、そのプライマリサーバからコンテンツを利用できない場合、管理対象デバイスは、別のプライマリサーバか、管理ゾーンで設定されたコンテンツ役割を持つサテライトサーバからコンテンツを要求します。これは、コンテンツを提供できるサーバが見つかるまで続行されます。

管理対象デバイスは、1つの管理ゾーンにのみ登録でき、そのゾーン内でのみ管理されます。

1.2.4 インベントリのみデバイス

Adaptive Agent をインストールできないデバイスや Adaptive Agent をインストールしないデバイスがある場合があります。これらのデバイスのインベントリを作成するには、インベントリのみエージェントをインストールするか、ポータブルコレクタを実行できます。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management 検出、展開、およびリタイアリファレンス』を参照してください。

1.2.5 管理ゾーン

管理ゾーンは、1つまたは複数のプライマリサーバと1つまたは複数の管理対象デバイスから構成されています。ゾーン内のプライマリサーバは共に動作して、デバイスを管理します。ゾーンの情報は、プライマリサーバの1つにインストールされたデータベースまたは ZENworks がインストールされていない外部のサーバにインストールされたデータベースに保存されます。ゾーンにはサテライトも含まれます。

1.3 システム管理

ZENworks システムは、タスクベースの Web ブラウザコンソールである ZENworks コントロールセンター (ZCC) を通じて、管理ゾーンレベルで管理します。次の図は、WEB ブラウザ表示の ZCC の部分を示しています。

図 1-2 ZENworks コントロールセンター



ZCC は、管理ゾーンのすべてのプライマリサーバにインストールされます。どのプライマリサーバでも、すべての管理タスクを実行できます。ZCC は、Web ベースの管理コンソールなので、任意のサポートされているワークステーションからアクセスできます。

Novell iManager を使用してネットワーク環境でその他の Novell 製品を管理する場合、ZCC を有効にして iManager から起動できます。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』を参照してください。

ZCCに加えて、zman コマンドラインユーティリティを使用して、ZENworks システム内でオブジェクトを管理できます。たとえば、コンテンツをバンドルに追加したり、ポリシーをデバイスに割り当てたり、デバイスを登録したりできます。コマンドラインユーティリティを使用する主な利点は、繰り返し操作または一括操作を処理するためのスクリプトを作成できることです。

ZCC と同様に、zman ユーティリティはすべてのプライマリサーバにインストールされますが、実行できるのはサーバ上のコマンドラインからのみです。

1.4 ZENworks 用語集

表 1-1 ZENworks Configuration Management 用語集

| 用語 | 説明 |
|------------------------|--|
| バンドル | <p>ZENworks Configuration Management には、4 つのタイプのバンドルがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">◆ ディレクティブ: サポートされているプラットフォームの管理対象デバイスに対して一連のタスクを実行します。ZENworks Configuration Management で、タスクはアクションと呼ばれます。また、パーソナリティの保存やパーソナリティの適用などパーソナリティアクションも含まれます。◆ ファイル: ファイルとフォルダのコピーおよびインストール機能を管理対象デバイスに提供します。◆ イメージング: 起動時にデバイスに適用されるスクリプトまたはイメージのコレクションです。また、イメージを複数のデバイスに送信するために、マルチキャストイメージセットバンドルを定義できます。サードパーティイメージバンドルは、デバイスに復元されるサードパーティイメージを指定するために定義できます。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management Preboot Services およびイメージングリファレンス』を参照してください。◆ Windows: MSI、MSP、シンプルアプリケーション、シンクライアント、および Web アプリケーションを提供します。 <p>詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management Software Distribution リファレンス』を参照してください。</p> |
| コンテンツリポジトリ | <p>システム内の管理対象デバイスに配信するために使用できるファイル、ポリシー、およびその他の項目が含まれています。コンテンツは圧縮され、暗号化されます。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「コンテンツリポジトリ」を参照してください。</p> |
| インベントリのみデバイス | <p>ZENworks Adaptive Agent がインストールされないか、またはインストールできないデバイスです。これらのデバイスには、代わりに、アセットインベントリを使用してインベントリを行えるように Inventory Only Module をインストールします。オプションで、ポータブルコレクタを使用してインベントリを実行することもできます。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management 検出、展開、およびリタイアリファレンス』の「Adaptive Agent または Inventory-Only モジュール」および「インベントリのみモジュールの展開」を参照してください。</p> |
| インベントリのみモジュール | <p>インベントリを可能にするためデバイスにインストールされるソフトウェア。これは通常、Mac OS* X、NetWare® 5.1/6/6.5、OES (NetWare)、Unix (Sun Solaris、HP UX、または IBM AIX)、または Linux オペレーティングシステムを実行している、管理対象デバイスとしてサポートされていないデバイスにインストールされています。</p> |
| 管理対象デバイス | <p>Adaptive Agent がインストールされていて、管理ゾーンに登録されている Windows サーバまたはワークステーションです。</p> |
| 管理コンソールまたは管理者ワークステーション | <p>Web ブラウザで ZENworks コントロールセンターを実行するデバイスです。</p> |

| 用語 | 説明 |
|-------------------------|---|
| 管理ゾーン | 少なくとも1つのプライマリサーバから構成されます。その他のプライマリサーバおよび管理対象デバイスとして1つまたは複数のワークステーションを含めることができます。また、インベントリのためのデバイスも含めることができます。 |
| ポリシー | 管理対象デバイス用のオペレーティングシステムとアプリケーションの設定を両方定義できる一組のルールと情報です。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management Policy Management リファレンス』を参照してください。 |
| プライマリサーバ | ZENworks サービスおよびコンテンツリポジトリが含まれるマシン。オプションで、ZENworks データベースを含めることもできますが、ゾーンごとに1つのプライマリサーバのみです。1つの管理ゾーンは、複数のプライマリサーバで構成できます。 |
| ポータブルコレクタ | 任意のデバイスをインベントリでき、デバイスと同様に ZENworks コントロールセンターでアクセス可能なファイルを作成できるソフトウェアユーティリティです。このファイルはデバイスに関するインベントリデータを取得するために使用されます。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management Asset Inventory リファレンス』の「ポータブルコレクタの使用」を参照してください。 |
| リモート管理サービス | リモートオペレータがデバイスでリモートセッションを実行できるようにするための管理対象デバイスコンポーネント。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management Remote Management リファレンス』を参照してください。 |
| リモート管理プロキシ | リモート管理操作要求をリモート管理ビューアから管理対象デバイスに転送するプロキシサーバ。このプロキシは、プライベートネットワーク上、あるいは NAT (Network Address Translation) を使用するファイアウォールまたはルータの反対側にある管理対象デバイスにビューアが直接アクセスできない場合に役に立ちます。前提条件として、プロキシを Windows 管理対象デバイスにインストールするか、または Linux デバイス (物理サーバまたはサテライトデバイス) にインストールする必要があります。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management Remote Management リファレンス』を参照してください。 |
| サテライト | サテライトは、ZENworks プライマリサーバが通常実行する特定の役割を実行できるデバイスです。サテライトは、管理対象デバイス (サーバまたはワークステーション) または管理されていない Linux デバイス (サーバまたはワークステーション) として使用できます。サテライトデバイスを設定するとき、実行する役割を指定します (イメージング、コレクション、またはコンテンツ)。 詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「サテライト」を参照してください。 |
| ZENworks Adaptive Agent | プライマリサーバで管理できるようにするために Windows サーバまたはワークステーションにインストールされるソフトウェア。Adaptive Agent は、ソフトウェア配信、ポリシー適用、イメージング、リモート管理、インベントリなどをサポートするモジュールから構成されます。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「ZENworks Adaptive Agent 展開」を参照してください。 |
| ZENworks コントロールセンター | ZENworks Configuration Management システムを管理するために使用される Web ベースの管理コンソールです。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management 管理クイックスタート』の「ZENworks コントロールセンター」を参照してください。 |

| 用語 | 説明 |
|--|--|
| ZENworks database (ZENworks データベース) | <p>配信に使用できるソフトウェア、デバイスから収集されるハードウェアとソフトウェアのインベントリリスト、およびシステム内で実行されるようスケジュールされたアクションに関する情報が含まれるデータベース。</p> <p>データベースはプライマリサーバに配置することも、外部データベースとしてリモートサーバ上に配置することもできます。デフォルトで、すべてのプライマリサーバは、データベースへのアクセスを必要とします。</p> <p>サポートされているデータベースの詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management インストールガイド』の「データベースの要件」を参照してください。</p> <p>ZENworks データベースの詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「データベース管理」を参照してください。</p> |
| zman | <p>ZENworks システムを管理するためのコマンドラインインタフェース。zman ユーティリティは、タスクの自動化 (スクリプトを使用)、および ZENworks コントロールセンターで実行するには手間のかかる大量の管理タスクの実行に役立ちます。たとえば、多数のデバイスを設定している場合や、多数のバンドルにアクションを追加する場合などがあります。</p> <p>zman は、すべてのプライマリサーバで使用できます。</p> <p>詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management コマンドラインユーティリティリファレンス』の「ZENworks コマンドラインユーティリティ」を参照してください。</p> |
| zac | <p>Novell ZENworks Adaptive Agent のコマンドライン管理インタフェース zac ユーティリティは、ZENworks 管理対象デバイスに対して、ソフトウェアバンドルのインストールおよび削除、ポリシーの適用、およびデバイスの登録と登録解除などを含むコマンドライン管理機能を実行します。</p> |

インストールおよびセットアップマ ニュアル

2

Novell® ZENworks® 10 Configuration Management SP3 のインストール、移行、設定については、次の該当マニュアルの指示に従ってください。

- ◆ [ZENworks 10 Configuration Management インストールガイド](#)

ZENworks 管理ゾーンを 1 つ以上の ZENworks プライマリサーバで確立する手順について説明しています。GUI、コマンドライン、またはサイレントインストールの手順が含まれています。

- ◆ [ZENworks 10 Configuration Management Appliance 展開および管理リファレンス](#)

サポートされている仮想インフラストラクチャ上に、ZENworks サーバと ZENworks Reporting Server を含むカスタマイズされた SUSE® Linux Enterprise Server 10 SP2 を展開する方法について説明します。ZENworks Appliance をその展開後に管理する方法についても説明しています。

- ◆ [ZENworks 10 Configuration Management Reporting Server インストールガイド](#)

ZENworks インフラストラクチャレポーティングに対して ZENworks Reporting Server をインストールするための手順を提供します。

- ◆ [ZENworks 10 Configuration Management アップグレードガイド](#)

Novell ZENworks 10 Configuration Management SP3 への正常なアップグレードに役立つ情報を提供します。

- ◆ [ZENworks 10 Configuration Management ZENworks マイグレーションガイド](#)

従来の ZENworks Novell eDirectory™ データを ZENworks Configuration Management データベースにマイグレートする方法について説明しています。関連付けおよびゾーン設定を含む、アプリケーション、イメージング、ポリシー、およびワークステーションオブジェクトからのマイグレート情報が記載されています。ユーザオブジェクトのマイグレートは含まれません。代わりに、Configuration Management では既存のユーザソースから読み込みます。また、インベントリデータもマイグレートされません。インベントリデータのマイグレートは、ZENworks Asset Management Migration Utility を使用して実行します。

- ◆ [Novell ZENworks 10 Asset Management マイグレーションガイド](#)

ZENworks Asset Management 7.5 のデータを ZENworks 10 Configuration Management に移行する方法について説明します。

- ◆ [ZENworks 10 Personality Migration リファレンス](#)

Personality Migration のセットアップとインストール、Desktop DNA* を使用したデバイスのマイグレーション、アップグレード、およびバックアップ方法が記載されています。

- ◆ [ZENworks 10 Configuration Management 管理クイックスタート](#)

ZENworks Configuration Management はすぐに使用できる状態ですが、ご使用の環境に合わせて設定したい場合も考えられます。『管理クイックスタート』には、次の内容に関する基本的な手順が含まれています。

- ◆ ゾーン設定

- ◆ ZENworks Adaptive Agent の展開
- ◆ デバイス管理
- ◆ システムメッセージングおよびレポーティング
- ◆ *AdminStudio 9.5 ZENworks Edition インストールガイド* (<http://www.novell.com/documentation/zcm10/pdfdoc/adminstudio/AS95ZENInstallGuide.pdf>)

AdminStudio* のインストールとアクティブ化に関する情報を提供します。

Novell® ZENworks® 10 Configuration Management SP3 に関する次のリファレンスには、概要、セットアップ手順、使用手順、継続的管理手順などの情報が記載されています。

- ◆ [ZENworks 10 Configuration Management 管理クイックスタート](#)
ZENworks Configuration Management をご使用のネットワーク用にセットアップする方法の手順と製品の機能を学習するための簡単なタスクについて記載されています。
- ◆ [ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス](#)
ZENworks サーバおよびサテライト、ユーザソース、ZENworks 管理者アカウント、管理ゾーン環境設定、代替コンテンツリポジトリ設定、データベース保守などについて記載されています。
- ◆ [ZENworks 10 Configuration Management コマンドラインユーティリティリファレンス](#)
zman、zac、および zeninfocollect コマンドラインユーティリティの手順を提供します。
- ◆ [ZENworks 10 Configuration Management 検出、展開、およびリタイアリファレンス](#)
デバイス登録、ZENworks Adaptive Agent、ネットワークデバイス検出、デバイスインポート、インベントリのみデバイスの設定、および展開タスクについて記載されています。
- ◆ [ZENworks 10 Configuration Management Software Distribution リファレンス](#)
バンドルの作成と管理によるソフトウェア配布、バンドル割り当て、バンドルスケジュール作成、およびバンドルに追加可能なアクションについての説明が記載されています。
- ◆ [ZENworks 10 Configuration Management Policy Management リファレンス](#)
オペレーティングシステムとアプリケーションを設定するためのポリシーの作成と適用についての説明が記載されています。
- ◆ [ZENworks 10 Configuration Management Preboot Services およびイメージングリファレンス](#)
Preboot Services のセットアップ、デバイスイメージング、バンドルイメージング、および手動イメージング操作についての説明が記載されています。
- ◆ [ZENworks 10 Configuration Management Remote Management リファレンス](#)
デバイスをリモートで管理および制御する方法が記載されています。
- ◆ [ZENworks 10 Configuration Management Asset Inventory リファレンス](#)
スキャン方法、個別のデバイスインベントリ情報の表示方法、およびインベントリレポートの生成方法を含む、ソフトウェアおよびハードウェアのインベントリ収集についての説明が記載されています。
- ◆ [ZENworks 10 Asset Management リファレンス](#)
ソフトウェア使用状況の追跡、ソフトウェア契約の管理、ソフトウェアライセンス準拠など、ソフトウェアアセットを管理する方法について説明します。
- ◆ [ZENworks 10 Configuration Management System Reporting リファレンス](#)

BusinessObjects* Enterprise XI レポーティングを ZENworks インフラストラクチャで実行する方法が記載されています。

- ◆ *ZENworks 10 Patch Management* リファレンス

自動的にパッチを適用して、脆弱性および準拠に関する問題を最小限に抑えるための説明が記載されています。

- ◆ *AdminStudio 9.5 ZENworks Edition ユーザガイド* (<http://www.novell.com/documentation/zcm10/pdfdoc/adminstudio/AS95UserGuide.pdf>)

AdminStudio のすべてのコンポーネントの機能に関する管理情報とエンドユーザ情報を提供します。

マニュアルの更新

A

このセクションには、この『*Standard Edition 入門ガイド*』(Novell® ZENworks® 10 Configuration Management SP3 用)で行われたマニュアル内容の変更に関する情報が記載されています。ドキュメントの最新の更新情報をここで入手できます。

この製品のドキュメントは、HTML および PDF の 2 つの形式で Web にて提供されています。HTML および PDF ドキュメントにはこのセクションに一覧表示された変更が反映され、最新の状態に保たれています。

使用している PDF ドキュメントが最新のものであるかどうかを知る必要がある場合、PDF ドキュメントの表紙の発行日を参照してください。

このドキュメントは次の日付に更新されました。

- ◆ [25 ページのセクション A.1 「2010 年 3 月 30 日 : SP3 \(10.3\)」](#)

A.1 2010 年 3 月 30 日 : SP3 (10.3)

次のセクションが更新されました。

| 場所 | 更新 |
|---|---|
| 14 ページのセクション 1.2.1 「プライマリサーバ」 | ZENworks Appliance に関する情報を追加しました。 |
| 21 ページの第 2 章「インストールおよびセットアップ マニュアル」 | <ul style="list-style-type: none">◆ 『<i>ZENworks 10 Configuration Management Appliance Deployment and Administration リファレンス</i>』に関する情報を追加しました。◆ 『<i>AdminStudio 9.5 ZENworks Edition インストールガイド</i>』をリストに加えました。 |
| 23 ページの第 3 章「管理マニュアル」 | ZENworks 10 Configuration Management SP3 では、現在、AdminStudio 9.5 をサポートしているため、『 <i>AdminStudio 9.0 Standard Edition ユーザガイド</i> 』を『 <i>AdminStudio 9.5 ZENworks Edition ユーザガイド</i> 』で置き換えました。 |

